

募 集

◎教員募集

麻布大学獣医学部生産獣医学系臨床繁殖学分野教員公募

- 1 募集人員：獣医学部生産獣医学系臨床繁殖学分野講師又は助教1人
- 2 担当分野：獣医臨床繁殖学分野
- 3 担当予定科目：
獣医臨床繁殖学，獣医臨床繁殖学実習，
産業動物獣医総合臨床，産業動物臨床実習，
産業動物臨床基礎実習，卒業論文等
- 4 応募資格：
 - ①獣医師の資格を有すること。
 - ②講師の場合は博士の学位を有すること。助教の場合も博士の学位を有することが望ましい。
 - ③人格・識見に優れ，本学における教育・研究に強い意欲と熱意を有し，かつ研究業績が「麻布大学獣医学部教員の採用・昇任基準」に定める条件を満たしていること。
 - ④産業動物の臨床経験を有し，本学附属動物病院における診療業務を担当できること。
- 5 着任予定日：平成26年10月1日
- 6 提出書類：
 - ①履歴書 1通（本学所定の書式）
 - ②研究業績目録 1通（本学所定の書式）
 - ・現在印刷中の業績は，それを証明する書類のコピーを添付すること。業績目録には応募者本人に下線を入れ，責任著書を太字とすること。
 - ・学術論文は，審査員制度を設けた厳正な学会誌等に発表したもので，最初のページのコピーを添付すること。
 - ③将来の研究と教育に関する抱負 1通（用紙・書式は自由，1,200字程度）
 - ④推薦書 2通（推薦者2人から各1通）
- 7 応募書類提出先：
〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺
1-17-71
麻布大学事務局教務部学務課気付
獣医学部長宛
・応募書類封筒の表に「獣医学部（生産獣医学系臨床繁殖学分野）講師又は助教応募書類在中」と朱書きの上，簡易書留等記録が残る方法で送付すること。
- 8 提出期限：平成26年3月31日(月) 消印有効
- 9 その他：
いずれの書類も，書式及び記載事項等の詳細は，JREC-IN 研究者人材データベース (<http://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekTop>) から本件該当ページを検索し，添付ファイルをダウンロードの上，記入・作成。
なお，選考に当たって，面接の依頼を行うことがある。応募に際して，提出書類等は，一切返却しない。
- 10 問合せ先：
麻布大学事務局教務部学務課
☎042-754-7111(代表) 内線703・322
E-mail : gakumu@azabu-u.ac.jp

募 集

第26回日本動物児童文学賞作品募集について ～人と動物との共存(共生)等を扱った作品の募集～

第26回日本動物児童文学賞の作品を下記により募集いたします。

【名 称】

第26回日本動物児童文学賞

【目 的】

この事業は、動物の愛護及び管理に関する法律(昭和48年10月1日法律第105号、以下「動物愛護管理法」という。)の目的及び基本原則等の趣旨に則り、次代を担う子供達が正しい動物福祉・愛護の考え方を身に付けることができるよう、動物の福祉・愛護に関するより良い文学作品を広く募集し、選考・審査の上、入賞作品を日本動物児童文学賞として決定し表彰・公表するとともに特に優れた作品を普及させることにより、児童の健全な育成と豊かな人間性を涵養することを目的として実施する。

【募集期間】

平成26年1月1日(水)～4月20日(日)(当日消印有効)

【募集内容】

読者対象を満6歳以上12歳までの学齢児童とし、動物の虐待防止、動物の適正飼養、人と動物のふれあい、人と動物との共生及び動物福祉・愛護等を扱ったもので未発表の作品であること。(ただし、商業出版を目的としない同人雑誌等への発表は差し支えない。)

【応募規定】

- (1) A4サイズ400字詰め原稿用紙を縦書きで使用する。総枚数40枚以上60枚以内とする。
- (2) 原稿は、原則としてワープロ原稿とする。インク、サインペン、ボールペンでの原稿も受け付けるが、その場合は、丁寧な字ではっきりと書くこと。またワープロ原稿の場合は20字×20行の体裁で印字すること。
- (3) 最初の1枚は応募用紙とし、①タイトル、②応募者の氏名(フリガナ)、③年齢、④性別、⑤職業、⑥郵便番号、⑦住所、⑧電話/FAX番号、⑨E-mailアドレス、⑩主要登場動物、⑪原稿の総枚数、⑫本賞の作品募集を何で知ったかを明記すること。本文は以降のページから開始し、各頁にページ数を印字(明記)すること。なお、上記

個人情報については、「第26回日本動物児童文学賞」に係る事務処理のみに使用する。

- (4) 原稿は本会にて複写するため、ホッチキス、とじ紐などで綴じないこと。

【応募資格】

プロ・アマチュアを問わず、年齢15歳以上の者とする。ただし、過去の本賞における大賞受賞者は対象外とする。

【賞】

- | | | |
|-------------|-------|--------|
| 日本動物児童文学大賞 | 1作品 | = 30万円 |
| 日本動物児童文学優秀賞 | 2作品以内 | = 20万円 |
| 日本動物児童文学奨励賞 | 5作品以内 | = 5万円 |

【発 表】

平成26年9月下旬以降、応募者全員に通知する。

【主 催】

公益社団法人 日本獣医師会

【応募先】

〒107-0062

東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23階
公益社団法人 日本獣医師会

【問合せ先】

公益社団法人 日本獣医師会事務局

☎03-3475-1695

(応募作品の内容訂正、審査状況に関する問合せは不可)

【著作権・その他】

- (1) 入賞作品の著作権は著作者に帰属するものとする。ただし、本事業に伴い実施する日本動物児童文学賞入賞作品集への掲載及び本会ホームページへの掲載並びに本会の事業において特に必要な場合には、本会はこの作品をいつでも無償で利用できることとする。
- (2) 著作者が入賞作品を出版等する場合には、日本獣医師会日本動物児童文学賞入賞作品である旨を明記することとする。
- (3) 応募作品は返却しない。
- (4) 「日本動物児童文学賞入賞作品集」は切手390円分(送料)を同封の上、本会事務局まで申し込めば希望者に送付する(在庫数に限りがある)。

募 集

平成25年度 獣医療提供体制整備推進総合対策事業 技術研修等への参加者の募集

参加を希望される方は、日本獣医師会事務局までご連絡ください。

☎03-3475-1601 FAX 03-3475-1604 E-mail : kyogikai@nichiju.or.jp

I 新規獣医師臨床研修促進事業

1 新規獣医師が職業倫理、関係法令、コミュニケーションスキルを修得するための技術研修

2月27日(木) 13:00～17:00 ①「臨床獣医師の倫理の在り方(仮)」中川秀樹, ②「関係法令」未定,
③「獣医師として知っておきたい最低限のコミュニケーションスキル」
木村祐哉 三の丸ホテル・茨城県水戸市

II 管理獣医師等育成支援事業

1 管理獣医師を育成するための農場経営・飼養管理に関する実習

3月4日(火) 9:00～17:00 ①「食肉処理センターにおける衛生管理」木村亜子
②「農場管理獣医師について」北村直人
③「肥育牛の死廃ゼロを目指した牛群管理」大橋邦啓
④「HACCP方式の実際 (FMVA農場管理手法)とEXCELを用いた簡易帳
票の作成実習」中村陽二, 高橋知通
(株)アグリリス・ワン和光ミートセンター・埼玉県和光市

2 管理獣医師の理解醸成のためのシンポジウム

2月23日(日) 9:00～12:00 「食の安全を守る獣医師～管理獣医師を知っていますか?～」
①「基調講演：食の安全を守る管理獣医師」北村直人
②「肉牛の生産にかかわる管理獣医師の役割(仮)」大橋邦啓
③「酪農における管理獣医師の役割(仮)」三好志朗
④「流通から見たFMVA認証と生産現場に望むこと(仮)」植村光一郎
⑤「総合討論」 幕張メッセ・千葉県千葉市

紹 介

コンサート収入の一部を動物たちのために

2011年から毎年、日本獣医師会「東北関東大震災動物救護活動等支援義援金」に寄付をいただいている、文化企画「Ave Maria」(志田英泉子代表)から、このたびクラシックコンサートの収益の一部が寄付された。

平成25年12月19日、声楽家の長野安恒氏が本会を訪れ、主催したクリスマスコンサートの収入の一部を矢ヶ崎専務理事に手渡した。志田氏、長野氏らは長年にわたり引退盲導犬を支援するためのコンサート活動をしているが、一昨年から被災動物への支援も掲げてコンサートを開催し、昨年引き続きコンサート収入の一部がこのたび本会に寄付された。

ここに厚く御礼申し上げるとともに、本会の活動への様々な分野からの幅広いご支援をあらためてお願いします。



矢ヶ崎専務理事へ寄付金を手渡し、
長野安恒氏(声楽家)

紹介

◎新刊

動物微生物検査学

微生物の特徴と分類などの基本的知識から、BSLやGMTなど制度面、理論と考え方を中心とした各検査法の詳説、感染症の検査、食品などの衛生検査について解説した、微生物検査技術の基本書。学生には検査技術の背景となる基礎知識の習得に、臨床の現場で活躍されている獣医師には理論立てた知識の整理に最適の書。

編者：福所秋雄，青木博史，田村 豊，前田秋彦，村上洋介，吉川泰弘

発行日：2014年1月20日

判型：B5判 248頁（カラー8頁）

価格：本体5,000円＋税

問合せ：(株)近代出版

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-10-9

☎03-3499-5191 FAX 03-3499-5204

<http://www.kindai-s.co.jp/>

紹介

◎新刊

ペットのトラブル相談Q&A —基礎知識から具体的解決策まで—

平成25年施行の改正動物愛護管理法・政省令、基準等に基づき、トラブルの実態、法的責任、対応策等についてわかりやすく解説するとともに、ペットをめぐるトラブルについて、法的な観点からの解決に向けた方策を示した、トラブル相談を受ける消費生活センター関係者、自治体担当者のほか、法律実務家等必携の書。

著者：渋谷 寛，佐藤光子，杉村重紀子

発刊：2013年10月31日

判型：A5判 292頁

発行：民事法研究会

定価：2,415円（税込）

行事等

- 1月7日：ペット関連業界賀詞交歓会に藏内会長出席
：中央畜産会新年賀詞交歓会に藏内会長、
矢ヶ崎専務理事，北村顧問出席
- 1月8日：日本動物用医薬品協会新年賀詞交歓会に
矢ヶ崎専務理事出席
- 1月10日：獣医師賠償責任保険中央審議会平成25年
度中間監査
- ：横浜市獣医師会新年賀詞交歓会に北村顧問
出席
- 1月16日：畜産飼料調査会に矢ヶ崎専務理事出席
- 1月17日：神奈川県獣医師会新年賀詞交歓会に藏内会
長，北村顧問出席
- 1月23日：川崎市獣医師会新春賀詞交歓会に北村顧問
出席
- 1月27日：畜産飼料調査会総会に矢ヶ崎専務理事出席
- 1月31日：業務運営幹部会議

紹介

◎新刊

ケーススタディ 小動物の診療

小動物臨床心得からはじまり，ケーススタディとして，60症例について，珍しい症例，日常的な症例，成功した例，不備があった例等詳細に記載し，診断・治療の進め方，疾患の概要等に関するコメントとともに，大きなカラー写真や画像診断写真を多数収載し，さらに索引を犬・猫種名，症状，疾患名，診断法，治療法，薬品名などにピックアップする等使いやすくした症例集。

著者：加藤 元
仕様：A4判変形 484頁 カラー多数
定価：定価24,150円（本体23,000円+税）
発行：文永堂出版株式会社
問合せ先：文永堂出版株式会社
☎03-3814-3321
FAX 03-3814-9407

行事等案内

大動物臨床研究会第4回東京シンポジウム

日時：2014年3月1日(土) 10:00～17:00

場所：東京大学農学部1号館8番教室

テーマ：牛の一生における管理

～周産期・ケトーシスを再考する～

内容：

- ①基調講演1（10:00～12:00）
「ヒトの糖尿病の病態と診療の実際」
和田典男（市立札幌病院）
- ②ランチョンセミナー（12:10～12:50）
- ③基調講演2（13:00～15:00）
「乳牛のケトーシス」 及川 伸（酪農学園大学）
- ④話題提供（15:00～15:45）
協賛企業からの話題提供
- ⑤講演1（16:00～16:20）
「乳牛における乾乳期の飼養管理および血中βヒドロキシ酪酸濃度と周産期疾病発生との関係」
近藤敦子（ちばNOSAI連）

⑥講演2（16:20～16:40）

「乳牛のケトーシスを代表とする脂質代謝異常に対する臨床的アプローチ」

三浦道三郎（NOSAI埼玉）

⑦総合討論（16:40～17:00）

参加費：事前登録無し

会員 1,000円

非会員 4,000円

学生 1,000円

その他：意見交換会（17:30～19:30）

向ヶ丘ファカルティハウス（東大弥生キャンパス内）にて参加費5,000円

問合せ先：

大動物臨床研究会事務局 菊 佳男
動物衛生研究所 寒地酪農衛生研究領域
☎011-851-2175 FAX 011-853-0767
E-mail : yokiku@affrc.go.jp

平成25年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(千葉)プログラム

市民公開 狂犬病対応シンポジウム

台湾で発生した狂犬病からわが国の対策を考える

開催日時 平成26年2月21日(金) 13:00～17:00

開催場所 幕張メッセ・国際会議室

プログラム内容

- 挨拶 藏内勇夫(公益社団法人 日本獣医師会会長)
- 講演
 - 1 台湾における狂犬病発生に伴う農林水産省の対応 熊谷法夫 先生(農林水産省)
 - 2 台湾における狂犬病発生に伴う厚生労働省の対応と危機管理対応マニュアルの整備 中嶋建介 先生(厚生労働省)
 - 3 台湾国内におけるイタチアナグマ等で発生した狂犬病に対する取り組みの現状と今後の課題 井上 智 先生(国立感染症研究所)
 - 4 日本における狂犬病対策の在り方 山田章雄 先生(東京大学)
 - 5 我が国で36年ぶりに発症した人の狂犬病事例 二宮 清 先生(洛和会丸太町病院)
- 総合討論

行事等案内

第39回獣医疫学会学術集会、獣医疫学会評議員会、 総会のお知らせ

日時：2014年4月5日(土) 9:30～16:00

場所：東京大学大学院農学生命科学研究科

中島董一郎記念ホール

〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1

東京大学弥生キャンパス内

内容：

・シンポジウム(9:30～12:00, 開場9:15)

「狂犬病の疫学とその対策

—獣医疫学が社会に果たす役割—

①清浄国における狂犬病対策はどうあるべきか

山田章雄(東京大学)

②米国から我が国への犬・猫の輸入による狂犬病侵入リスクの定量的評価

鎌川浩之(農林水産省動物検疫所)

③台湾での狂犬病発生から学ぶ疫学と診断能力向上への取り組み 井上 智(国立感染症研究所)

・平成25年度獣医疫学会評議員会(13:00～13:30)

・平成25年度獣医疫学会総会(13:30～14:00)

・一般演題 10題程度(14:00～16:00)

その他：詳細については、当会ホームページ(<http://www.vet-epidemiol.jp/>)を参照。

非会員も参加可(事前登録不要)。

問合せ先：獣医疫学会事務局

〒305-0856 茨城県つくば市観音台3-1-5

(独)農業・食品産業技術総合研究機構

動物衛生研究所 ウイルス・疫学研究領域

☎029-838-7769, 7829

FAX 029-838-7769

E-mail: info@vet-epidemiol.jp